

国際村だより

DEWA SHONAI INTERNATIONAL FORUM

dewasshonai



日本語教室でぶどう狩り 約50名が参加しました



国際村だより もくじ

- P 2 : 出羽庄内国際村音楽祭2023「旅する音楽祭」
- P 3 : 鶴岡田川地区日中友好協会設立40周年記念事業
- P 4 : 旅する国際村オンラインツアー (メキシコ・バングラデシュ)
せかいの台所 (フィリピン・インドネシア)
- P 5 : 日本語指導ボランティア養成講座
日本語教室「くるりん館」見学
- P 6 : 中国語特別講座、第12回日本語スピーチコンテスト
..... [これからの予定]
- P 7 : 外国語講座 第3期 受講者募集、英語特別講座
.....
- P 8 : せかいの台所レシピシリーズ～フィリピン料理～
あとがき・オンラインツアー・タイ編募集

随時募集中

- ホストファミリー
- イベントボランティア
- コミュニティ通訳ボランティア
- 財団賛助会員

出羽庄内国際交流財団会報

vol. 91

令和5年12月25日発行

出羽庄内国際村音楽祭2023



11/4(土)
開催!

旅する音楽祭

Kimiyo Ogawa invites Mezcal Jazz Unit Japan tour 2023
ヨーロッパジャズ・アルゼンチンタンゴ・フォルクローレ



普段聴く機会の少ない世界の様々な国や地域の民族音楽や民族楽器を紹介し、国際理解や交流を深めようと、毎年「出羽庄内国際村音楽祭」を実行委員会で開催しています。今回で29回目の開催となりました。

今年のコンサートは「音で旅する国際音楽祭実行委員会」代表の小川紀美代さんがフランスのMezcal Jazz Unitを日本に招いて、全国ツアーとして企画されたもの。全国8か所の内、山形会場として前日の大鳥音楽祭に続けて11月4日(土)に国際村を訪れました。ゲストにペルー人アーティストFlorez Duoの二人を迎えて、フランス、アルゼンチン、ペルーの音楽で巡る、世界を旅する音楽祭になりました。

小川紀美代さんを中心に、Mezcal Jazz UnitとFlorez Duoの織りなすステージは、世代、国境やジャンルを超えて、人と人をつなぐオリジナルな音楽で聴く者を魅了していました。

最後の曲は「見上げてごらん夜の星を」の日本の歌をアレンジして会場全体で歌うなど、雰囲気も大変盛り上がったコンサートとなりました。

演奏後に実行委員のメンバーが心を込めて準備したおいしい料理で懇親会を行いました。短い時間の打ち上げでしたが、実行委員会の皆さんとアーティスト皆さんとのより深い交流が生まれました。



実行委員長より 蛸井 恵一さん

回を重ね、29回目となった出羽庄内国際村音楽祭に、今年も多数ご入場いただきまして実行委員一同、厚く御礼申し上げます。

さて今回は、バンドネオンというアルゼンチンタンゴには欠かせない蛇腹楽器の演奏者である小川紀美代さんと、小川さんが、はるばるフランスからお招きしたMezcal Jazz Unitの皆さま、それに南米ペルーを母国とし、日本で活動しているFlorez Duoをお迎えしての公演が行われました。

「旅する音楽祭」と名付けられたステージでの演奏には、それぞれに情景が浮かび、それはモンペリエの美しい街並みであったり、アンデスの高原を翔けるコンドルであったり、また、ブエノスアイレスの街角でタンゴを踊る人々の姿でありました。会場でお聴きになられた皆さまには、どのような情景が映っておられたでしょうか。

当音楽祭では、これからも世界のなかなか接する機会の少ない音楽、舞踊等に目を向けた企画での公演を行って参りたいと思いますので今後とも宜しく願い申し上げます。



満員となった国際村ホール

鶴岡田川地区日中友好協会 設立40周年記念事業

記念講演会・祝賀会を開催



講師 阿南ヴァージニア史代氏

友好協会設立40周年記念事業が10月29日、国際村ホールで開かれました。会員はじめ一般市民など約100名が歴史学者である阿南先生の講演を聴講し、続いて開催された祝賀会には約50名のご来賓と会員が参加、交流の節目をお祝いしました。3名の会員様より記念事業についてご寄稿いただきました。



顧問 佐藤 聡さん

友好協会設立40周年を記念して、出羽庄内国際村ホールで式典が開催されました。同協会は1982年に設立され、これまでに太原日語晨会への寄付活動、中国語講座の運営、訪中団の派遣、在留中国人との交流活動などを展開してきました。

記念講演では慈覚大師円仁研究の第一人者である歴史学者 阿南ヴァージニア史代さんが登壇し、「国際人円仁、唐代の旅」と題して貴重な講演を行いました。円仁が最後の遣唐使として唐に渡り、9年間にわたる旅の詳細を綴った「入唐求法巡礼行記」は、当時の風



俗や社会経済を克明に記録した貴重な日記として世界三大旅行記に数えられています。円仁が1,200年前に唐の国で経験した風景や、阿南さんが20年以上にわたり続けている植樹活動「円仁グリーンロード」を通じた中国人との交流を、多くの写真で追体験することができました。

記念式典では、康暁雷中国駐新潟副総領事、加藤鮎子内閣府特命担当大臣(代理)、吉村美栄子山形県日中友好協会会長(代理)、大内理加山形県日中友好協会女性委員会会長より祝辞が寄せられ、二胡迷の皆さんによる二胡演奏が披露されました。協会では民間レベルの日中交流を今後も活発に展開して参りますので、市民の皆様のご参加、ご支援をお願いいたします。

幹事 佐藤満也さん

40周年という節目の行事に関わらせていただき、種々課題が横たわっている日中関係ではありますが、だからこそ私たち民間レベルで、“相互理解と相互信頼”をより深め、交流の輪を広げていくことが重要であることを痛感しました。

今回の記念講演会は、歴史学者・円仁研究家の阿南ヴァージニア史代先生の、日中の懸け橋として大きな貢献をした“慈覚大師円仁”のお話しでした。

円仁は山寺立石寺の建立で有名ですが、実はここ鶴岡田川にも円仁と縁のある寺社が4カ所あり、私は講演会のご案内も兼ね訪問させていただきました。

羽黒の荒澤寺正善院様、青龍寺様、金峯神社様、加茂の龍宮寺様で、それぞれ円仁への思いが伝わり、今でもそれが生きていることを感じました。

また折しも同じく日中の懸け橋として音楽で大貢献され、10月8日に亡くなった谷村新司さんの足跡も祝賀会の中でお話しさせていただきました。

鶴岡田川地区日中友好協会がこれまで歩んできた、中国訪問団の派遣、中国語講座の開設、「春節を祝う会」を通じての交流、友好姉妹講座「太原市日語晨会」との交流の4本柱の継続を通じて、これからも民間レベルで“相互理解と相互信頼の和”を深めて行きたいものです。

会員 阿部達也さん

「阿南ヴァージニア史代先生のご講演を拝聴して」

阿南先生の講演に出てくる「円仁」については殆ど知識も無く、早速先生が講談社から出されている「円仁慈覚大師の足跡を訪ねて」という著書を拝読しました。さらに「入唐求法巡礼行記」については目を通す時間も無かったので、YouTubeで矢崎佐和子さんの「入唐求法巡礼行記①～⑭」で事前に学習しました。先生が円仁について「強い決意・素晴らしい人間性・心の広い国際人」と評されましたが、これはまさに阿南先生のお姿そのものではないかと思われました。阿南先生をはじめ、この度の記念事業に関係された全ての皆様に感謝申し上げます。



二胡の演奏が華を添えました

世界の今を見てみよう! 旅する国際村オンラインツアー

第1回 メキシコ・モレリア編

ロドリゴ・カマチョさん(ロイさん)
水之江 真季さん、工藤 颯さん
(東京都出身) (庄内町出身)

今年度1回目のオンラインツアーは、「メキシコ・モレリア編」を行いました。

ロータリークラブのプログラムで6月まで鶴岡東高校に在籍していたモレリア出身のロイさんを中心に、同じプログラムで、メキシコに交換留学していた真季さん、颯さんの高校生によるオンラインツアーでした。

真季さんが事前に撮影してくれた動画では、ルート内であればどこからでも乗れる「コンビ」と呼ばれる乗り合いバスが目の前を通ったり、フルーツたっぷりのモレリアのソウルフード「ガスパチョ」のスタンドが並んでいて、街角で演奏されるマリアッチの陽気な音楽とともに街の賑わいが伝わってきました。

メキシコのロイさんのお母さんにハウストゥアーもしていたが、充実したツアーとなりました。



第2回 バングラデシュ・ラッシャヒ編

加藤 清輝さん

バングラデシュ・ラッシャヒ編では、鶴岡市出身の加藤清輝さんにナビゲーターをしていただきました。加藤さんはバングラデシュで恵まれない子ども達の小学校「アロアシャ学園」の設立に参加し、継続的な支援活動を行っています。この度、現地に行くということから案内をお願いしました。

以前山形大学に留学していたモンジュールさんのお宅からツアーが始まりました。途中でネットが切れてしまうというハプニングがあったものの、料理の様子や、インテリアなどを見せていただきました。その後は事前に撮影していただいた臨場感のある映像をみながらお話を聞きました。

この時期、バングラデシュで数日続くお祭りがあり、買い物をするたくさんの人で賑わっていました。



サラマッポ
Salamat po!
ありがとう

国際村の料理教室 せかいの台所

テレマカシ
Terima kasih!
ありがとう

フィリピン料理 ~蘭さんの台所~



国際村の大人気料理教室「せかいの台所」。今年度3回目はフィリピン出身の佐藤蘭さんに「チキン アフリターダ」「ギニサン ムンゴ」「パリータウ」の3品を教えていただきました。

「チキン アフリターダ」は鶏肉と野菜のトマト煮込みで、ムング豆を使った「ギニサン ムンゴ」と相性もよく、フィリピンでは定番の調味料であるアマエビの塩辛「バゴンアラマン」が味の決め手になっていました。

手作りの焼き菓子を参加者皆にプレゼントしてくれた蘭さん。会食時には参加者一人ひとりに声をかけながら、料理やフィリピンについての質問に丁寧に答えてくれました。



インドネシア料理 ~アリアさんとイクバルさんの台所~



第4回目では、インドネシア出身のアリアさんとイクバルさんに「ミーアヤム」「ピサンゴレン」「チレンブンプルジャク」の3品を教えていただきました。

アリアさんとイクバルさんは鶴岡滞在歴が長く、前日の買い出しではスーパーのレイアウトをほとんど把握している様子で、とてもスムーズに買い出しをすることができました。

参加者から好評だった「ミーアヤム」は生姜、鶏肉、ピーナッツの旨味が効いたチキンラーメンでした。常夏のインドネシアでは寒い日に体を温めるために食べるそうです。

寒い今の時期にぴったりな料理教室となりました。



ホームページより、《せかいの台所レシピ集》をご活用ください。
今回のフィリピン料理とインドネシア料理(P8に一部掲載)のレシピはもちろん、今まで実施してきた各国の料理のレシピを紹介しています。



国際村日本語教室 日本語指導ボランティア養成講座

今年も出羽庄内国際村の日本語教室で活動する人のための「日本語指導ボランティア」の養成講座を開催しました。今回は全6回コースで、8月27日から9月24日までの期間、庄内地域の外国人を取り巻く現状や、日本語指導の基礎、やさしい日本語についての研修、そして模擬授業と、様々な内容の理解を深めました。

今回の受講生は11名。庄内地域だけでなく、山形市や新庄市、秋田県から参加された方もいて、地域の外国出身者や多文化共生への関心の高さが伺えました。

【今年度の養成講座 研修内容】

- オリエンテーション
(外国人を取りまく現状／国際村の事業など)
- やさしい日本語研修
- 日本語指導の基礎
- 日本語初級文法 ○テキストの使い方
- 日本語指導実践 ○模擬授業

受講者同士で模擬授業



毎年約100名の学習者を対象に、現在41名の指導ボランティアが通年で小グループまたは1対1の日本語の学習支援をしています。学習者の日本語レベルや学びたい内容も多様化し、言語を学ぶだけでなく地域社会や人との繋がりを支える地域の日本語教室は、ますます重要な役割を担っています。

新規ボランティアの皆さんは、座学での研修後、教室見学やチーム・ティーチングなどを複数回行い、本格的な活動を開始する予定です。

9/3
SUN

日本語教室施設見学会

リサイクルプラザ「くるりん館」を見学!

日本語教室では防災学習館や消防署、ゴミ処理施設など、主に私たちの生活と密接な関係があるところを訪ねる施設見学会を行っています。このような見学会を通して日常生活に必要な知識やルールなどを学ぶと同時に、実践的な日本語も勉強しています。今年は鶴岡市リサイクルプラザ「くるりん館」の見学を行い、日本語教室の学習・指導ボランティアとその家族、国際村スタッフを合わせ、40人が参加しました。

参加者たちは家庭から出された資源ゴミが、どんなふうに分別されリサイクルされていくか、担当者



からの説明を聞き、ガラス瓶などを手作業で選別する現場を見学しました。

この日は「くるりん館」の年に一度の「休日見学会」で、鶴岡高専の学生による科学体験教室にも参加させていただきました。見学の終わりには再生品の抽選に参加したり、「お持ち帰り」コーナーからスノーシャベルなどリサイクル品をいただくなど、楽しく有意義な見学会となりました。参加者からは文化や習慣、生活のルールを学ぶことはとても大切なことなので、来年も企画してほしいという声も聞かれました。

中国語特別講座

美味汉语等着您！

普段勉強している言語を活用して、ネイティブスピーカーとより実践的な会話力を学ぶことを目的に、毎年行っている外国語特別講座。今回は中国語特別講座を11月5日に開催しました。中国出身の先生にご協力いただき「趣味」「食文化」「世界の山や動物」の3つのブースを設け会話を楽しみました。各ブースでは先生方が自国の情報を交えながら参加者と会話をしている様子が見られました。参加者からは、「中国語を話す良い機会となった」「色々な話題があって楽しかった」など感想がありました。



テーマトークの様子



その後は調理室に移動し、麻婆豆腐、黒糖生姜風味芋団子の作り方を教えていただきました。

調理室には本格的な香りが漂い、料理を通して中国の雰囲気を感じました。会食中は参加者同士が中国へ旅行、留学した際の経験など話している様子が見られ参加者同士も交流が深められた時間でした。

お腹が満たされた後は中国語でゲームを行いました。後半になって皆さんの緊張もほぐれ和気あいあいとした雰囲気となり、参加者からは「勉強だけでなく、お料理もあり、中国の文化をより深く学べた」「毎年開催してほしい」と感想を多くいただきました。

国際村では一年を通して外国語講座、フリートーク型講座を行っています。詳しくはP7に記載しています。言語学習に興味のある方はぜひご参加ください。

10/22 (日) 第12回 日本語スピーチコンテスト in 庄内

庄内一円で実行委員会を作り、持ち回りで毎年実施してきた「日本語スピーチコンテストin庄内」。今年は庄内町余目第一まちづくりセンターで開催され、6か国9名が参加。YouTubeで生配信もありました。

出羽庄内国際村の日本語教室からは、全部で6名が参加。イルハム・マルフ・ヌル・イスナインさん（インドネシア）、デフォルマ・ジョマルさん（フィリピン）、レオナルド・ウイサカイナ・シルベストレさん（ペルー）の3名が「朗読の部」に挑戦しました。

「スピーチの部」には3名が出場。ジリアン・ラックスさん（アメリカ）が庄内の食文化やおもてなしの心を学んだこと、陳華さん（中国）がママ友との交流で周りの人を幸せにすることの大切さを知ったと伝えました。カウダン・バヤンさん（シリア）が愛する家族を母国に残して日本で生きていく決心を語り、審査員特別賞を受賞しました。大賞は庄内町在住のハイニー・サラさん選ばれました。来年は、酒田市で開催予定です。ぜひ聞きにいらしてください。



大賞

ハイニー・サラさん
『子供の頃から流暢な日本語を目指して』（アメリカ出身）



優秀賞

ジリアン・ラックスさん
『おいしい庄内とは』（アメリカ出身）



審査員特別賞

カウダン・バヤンさん
『シリアから日本へ私の決心』（シリア出身）



ベスト朗読賞

ファーガソン・マヤさん
（アメリカ出身）



奨励賞

イルハム・マルフ・
ヌル・イスナインさん
（インドネシア出身）

各出場者のスピーチ内容は庄内日報紙面に掲載される予定です。来年は酒田市で開催します。

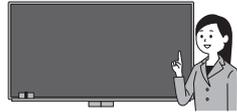
出羽庄内国際村

外国語講座 受講者募集!

外国語講座 第3期(1月~3月)

- 4月~7月、9月~12月、1月~3月の3期に分け、1年を通して学ぶ講座です。受講前に見学をおすすめします。**1回見学無料**(フリートーク型講座を除く)
- 受講される方は申込書を提出してください。(全てのコースで必要)
- 各講座 受講者3名より開講します。(入門コース、フリートーク型講座を除く)

★教室型クラス



教科書やプリントを使いながら、しっかり学びます。
文法などを勉強したい方は、こちらがおススメ。

講座/コース名	講師	期間	曜日	時間	回数	受講料
英語 初心者英会話	ダニエル・ポッド先生 (カナダ出身)	1/25 ~ 3/28	木	19:00~20:30	10	14,000円
中国語	入門 ヤン ヨンリ 楊 詠麗先生 (中国出身)	1/16 ~ 3/26	火	19:00~20:30	10	14,000円
	初級 ウェイ ベンホン 魏 本紅先生 (中国出身)	1/4 ~ 3/28	木	19:00~20:30	10	14,000円
	中級 ジャオ ピン 趙 萍先生 (中国出身)	1/6 ~ 2/24	土	13:30~15:00	8	11,200円
韓国語	入門 ラ スヨン 羅 寿英先生 (韓国出身)	1/10 ~ 3/27	水	19:00~20:30	10	14,000円
	初級 イ ヒョンヒ 李 賢熙先生 (韓国出身)	1/16 ~ 3/26	火	19:30~21:00	9	12,600円

★フリートーク型クラス

お茶を飲みながら、気軽に外国語で会話を楽しむ1時間講座。毎月の日程は、国際村ホームページ、Facebookに掲載しています。



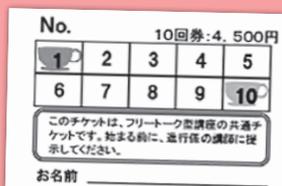
コース名	講師	曜日	時間
《英語》 かんばせーしょん 喫茶店	ジリアン・ラックス先生 (アメリカ出身)	火	19:00~20:00
	リンディ・オルティズ先生 (フィリピン出身)	日	14:00~15:00
《中国語》 朋友你好!	ヤン ヨンリ 楊 詠麗先生 (中国出身)	木	19:00~20:00
	ワン ヤピン 王 雅萍先生 (台湾出身)	土	15:30~16:30
	シウ ショウエイ 周 松嬰先生 (中国出身)		
《韓国語》 韓国との出会い	ユ オクヨル 劉 玉烈先生 (韓国出身)	土	13:00~14:00
《フランス語》 ル・サロン	ピエール・ボナーン先生 (フランス出身)	木	19:00~20:00
《スペイン語》 アブレモス・ エスパニョール	フロレンシオ・サンチェス先生 (ボリビア出身)	土	15:00~16:00

《全コース共通回数券》

5回券...2,500円

10回券...4,500円

お試しの参加(1回500円)以外の
方は、チケットをご利用ください。



英語特別講座 参加者募集!



模擬体験をしながら実践的な英語を楽しく学べる英語特別講座。現在フィリピン、インドネシア、カナダ出身の先生方と内容を計画中です。ネイティブスピーカーと自然な英語を話したい、いろいろな国の人と交流したい方は、ぜひご参加ください。詳細はホームページ等でお知らせします。

●日 時：令和6年2月17日(土)

13:00~16:00

●参加費：2,000円(小・中学生1,500円)

●場 所：出羽庄内国際村

●定 員：20名(8名以上で開講)



~昨年の様子~

せかいの台所

レシピシリーズ



フィリピン料理



講師：蘭さん（フィリピン・マニラ出身）

9月24日に開催した「せかいの台所～フィリピン料理～」よりパリータウ（ココナッツと餅の胡麻デザート）を紹介します。



パリータウ（ココナッツと餅の胡麻デザート）【材料 4人分】

- 白玉粉……………100g
- すりごま……………お好みの量
- 紫芋の粉……………適量
- 砂糖……………お好みの量
- ココナッツ（ロング）…300g

作り方

①ボウルに白玉粉を入れ、紫芋の粉で色を付ける。



②①に水を少しずつ入れて耳たぶくらいの固さにする。



③ココナッツ（ロング）をバットに広げる。白玉を茹でるためにお湯を準備しておく。



④白玉を楕円の形にし、沸騰したお湯に入れて浮き上がるのを待つ。



⑤白玉の水気を切り、熱いうちにココナッツをまんべんなく付ける。



⑥すりごまと砂糖を混ぜ合わせて、白玉にふりかければ完成。



あとがき

「千里の道も一歩から」の故事成語は、老子の「千里之行、始於足下」の言葉が由来とされている。壮大な計画、長期にわたる事業も、まずは身近な行動、最初の一歩からつながっていくものだといわれている。日中友好協会記念事業で招かれた阿南ヴァージニア史代氏は長く円仁を研究してきた。最澄の弟子、円仁は遣唐使として唐に渡り、密教を学び教義での数多くの疑問の答えを求め多くの高僧に会ったという。更に長安で世界の人々と交流し、9年に及んだ出来事全てを旅行記として残した。阿南氏はその7500^{キロ}の旅を、自ら踏破し、更に植樹活動を今もなお続けていることに脱帽した。この講演で「入唐求法巡礼行記」が世界三大旅行記の一つであることを初めて知ったことを悔いず、先ずは最初のページをめくることとしよう。

世界の今を見てみよう！ 旅する国際村オンラインツアー

タイ編

参加者募集

国際村オンラインツアー、今年度4回目はタイ編です。今回のナビゲーターは、高山ひかるさんです。



タイのカンチャナブリ県在住の高山さんからタイの生活や現在の活動の内容についてお話を聞いてみましょう。現在活動している「子どもの村学園」のお話もしていただきます。

詳細が決まり次第、ホームページ、Facebook等で情報をお知らせいたします。

- 日 時：令和6年1月20日（土）15時～
- ナビゲーター：高山ひかる氏
- 参加費：1アカウント1,000円
- 定 員：40名